

2012年度第8回理事会(定例)開催



全国指導普及委員長会議・研修会を開催

「指導における選手との信頼関係について」講義

■2012年度第8回理事会(定例)について

2013年3月21日(木)に協会事務局で開催された2012年度第8回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●第4期(2013年度)事業計画について (事業方針)

本会は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、バレーボール競技の普及および振興を図り、もって児童・青少年の健全な育成と国民の心身の健全な発達に寄与し、また豊かな人間性を涵養すること、更にバレーボール選手の育成・強化を行ない、国際的に枢要かつ名誉ある地位を占めるための競技力向上を図ることが目的である。

2012年に行われたロンドンオリンピックでは、全日本女子チームが28年ぶりに銅メダルを獲得し、日本国民に夢や勇気、感動をお届けすることができた。その勢いを更に加速させ、男子チーム、ビーチバレーを含め、バレーボール界全体の活性化に貢献する。

近年、わが国バレーボール界を取り巻く環境は、グローバル化およびボーダレス化、情報社会化、少子化に伴う競技人口の減少等により、急激な変化が生じている。このような環境変化の中、本年は大きな目標達成に向けた重要な1年となる。本年を当会の基盤強化の年と位置づけ、バレーボール界の発展に向け下記重点課題に関し全組織を挙げて取り組む。

- (1)小学生、中学生を中心としたバレーボール競技人口拡大(ゴールドプランの推進強化)に関し、実質的かつ具体的な活動を、本会の全組織を挙げて取り組む。
- (2)競技人口の拡大、人材の発掘から育成、一貫指導により、2016年、2020年のオリンピックを見据えたナショナルチーム強化のための体制を確立する。
- (3)前述の目的を達成するため、当会の組織、陣容等、内部体制の強化を図るとともに収入の拡大、経費の削減を進め、強靱な財務体質の構築と効率化を推進する。
- (4)国際バレーボール連盟、アジアバレーボール連盟の運営に積極的に参画し、本会のプレゼンスを向上させ、バレーボール先進国として各種事業活動を拡充する。
- (5)バレーボール界の暴力・体罰を根絶するために、協会及び加盟団体、指導者は「指導における倫理ガイドライン」の趣旨を充分理解・遵守し、これを普及徹底するために全力を傾ける。2013年度は、実態把握、具体的な防止策を纏めあげスピード感を持って実行する。

●第4期(2013年度)収支予算について

第4期の収支予算案については経理規程に則り、①収入見込み算出②各本部に概算配分額提示③概算配分を各本部で調整④本予算策定の順で予算編成を行いました。

まず収入見込ですが、経常収益計として、20億8,902万円を計上しました。

経常費用は、事業費が20億3,045万円(内訳は、競技力向上事業費5億2,186万円、国際大会開催・国際貢献事業費7億3,598万円、講習会指導者等養成事業費8,524万円、全国大会等開催事業費4億3,305万円、マーケティング事業費1億515万円、用具等公認、公認品販売事業費3,467万円、Vリーグ等開催事業費9,373万円、地域グループ育成事業費2,073万円)、管理費が9,215万円、経常費用計として21億2,261万円を計上しました。

結果、当期正味財産増減額は3,402万円の赤字予算となりました。その主な原因は、外国人監督就任に係る諸経費の増加、事務局システムを含むJVA全体のシステム構築のための投資などによるものです。

次に公益認定の基準に係る数値ですが、収支相償については公益目的事業である公1から公4まで、予算どおりに事業を執行できれば、基準を満たすことになります。

また公益目的事業比率については83.70%となり、これも50%以上の基準をクリアしています。

●公認・推薦規程について

これまで、バレーボール用品・用器具の公認・推薦事業を実施してきましたが、これについての詳細な規程を制定していなかったため、このたび、公認・推薦に関する規程を作成し、理事会の承認を得ました。

●加盟団体規程内の文言変更について

加盟団体規程第2条に加盟団体を記載していますが、このうち以下の4団体について、新公益法人制度に基づく法人移行や設立があったため、最新の表記に変更いたしました。

(変更前)財団法人東京都バレーボール協会

→(変更後)公益財団法人東京都バレーボール協会

(変更前)財団法人全国高等学校体育連盟バレーボール専門部

→(変更後)公益財団法人全国高等学校体育連盟バレーボール専門部

(変更前)財団法人日本中学校体育連盟バレーボール競技部

→(変更後)公益財団法人日本中学校体育連盟バレーボール競技部

(変更前)全国家庭婦人バレーボール連盟

→(変更後)一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟

<報告事項>

●第4回功労者Ⅱ表彰について

本会の2012年度第4回功労者Ⅱ表彰に関して、表彰等規程に基づき下記の通り表彰委員会で審査・決定しました。

推薦加盟団体: 秋田県バレーボール協会

氏名: 伊藤康雄 (いとうやすお)

年齢: 71歳

所属団体役職: 秋田県バレーボール協会参与

●第4四半期職務執行報告

中野代表理事及び業務執行理事から職務執行報告が行われました。

中野代表理事

- ①理事会・業務執行理事会の開催
- ②役員候補者推薦委員会の開催
- ③全日本男子監督の選考手続き
- ④FIVB Technical Commission Mtg・FIVB/AVC オセアニア会議への出席

岩満業務執行理事 事務局長 業務推進事業本部本部長

- ①貝塚ナショナルトレーニングセンター閉鎖打ち合わせ
- ②第 82 回全日本総合女子選手権大会・第 83 回全日本総合男子選手権大会開会式挨拶
- ③JOC マネジメントセミナー出席
- ④バレーボール用具認定に関する規程作成

下山業務執行理事 国内事業本部本部長

- ①会議出席
(若年層競技人口拡大プロジェクト、暴力撲滅に関する会議、
国内事業本部会議、ブロック理事会、黒鷲旗、ビーチバレージャパン実行委員会、
国内・国際・V機構スケジュール調整委員会会議、V機構理事会、
日本クラブバレーボール連盟評議員会、全国ママさんバレーボール会議)
- ②大会等視察
(第 65 回全日本バレーボール高等学校選手権大会、
第 81 回全日本 9 人制バレーボール総合女子選手権大会、
ジョイバレーボール教室)

森田業務執行理事 強化事業本部本部長

- ①全日本男子監督記者会見等
- ②チームスタッフ等契約
- ③貝塚ドリームスお別れ会
- ④JOC 理事会・各種委員会業務

豊原業務執行理事 M&M 事業本部本部長

- ①バレーボール情報番組の企画調整作業
- ②2013 年度の協賛社獲得作業
- ③肖像使用料の配分

羽牟業務執行理事 国際事業本部本部長

- ①国際大会関係調整
(世界バレーアジア予選、ワールドカップ、ワールドリーグ)
- ②FIVB 会長以下役員来日対応
- ③ビーチバレー代表チーム強化プロジェクト作業

小島業務執行理事 国際事業本部副本部長

- ①国際大会調整
(世界バレーアジア予選、ワールドカップ、ワールドリーグ)
- ②FIVB 会長以下役員来日対応
- ③ビーチバレー代表チーム強化プロジェクト作業

橋口業務執行理事 業務推進事業本部

- ①暴力根絶に向けた活動
- ②広報委員長としての広報業務
- ③環境委員長としての環境活動
- ④総務・人事関係業務
- ⑤早稲田大学スポーツ科学学術院・武藤泰明教授による提言取り纏め

<その他>

- 2013年度事業計画および予算の詳細については、2013年4月12日(金曜日)開催予定の2013年度第1回加盟団体代表委員総会においてご説明いたします。

以上

発行・公益財団法人日本バレーボール協会
電話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・業務執行理事事務局長 岩満 一臣
E-mail・generalaffairs@jva.or.jp